

会 議 録				
平成 21 年度第 4 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 21 年 7 月 15 日 (水) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	場 所	小金井市役所第二庁舎 801 会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	井土、伊藤、浦野、倉持、小林、田中、武田、彦坂、本川 各委員 (欠席) 田尻委員		
	その他	渡辺生涯学習部長、尾崎生涯学習課長、林スポーツ振興担当課長、 田中図書館長、大関公民館長		
	事務局	木村生涯学習係主事、		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可	傍聴者数	0 人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 協議事項				
(1) 20 陳情第 57 号について				
(2) 社会教育委員の会議の申し送り事項				
(3) その他				
2. 報告事項				
(1) 第 5 ブロック代表者会議の報告について				
(2) スポーツ振興事業について				
(3) 図書館の蔵書点検の結果について				
(4) 第 20 期小金井市公民館企画実行委員の選任について				
(5) その他				
1. 協議事項				
(1) 20 陳情第 57 号について (渡辺生涯学習部長)				
<p>現行、スポーツ振興関係については、社会教育委員の方に審議、検討をいただいている。これは社会教育法に基づいており、社会教育委員の会議の所管で動いているものを本陳情では新たな組織を立ち上げ、そこで審議、検討するということになるので、委員の意見を伺いたい。</p>				
(倉持委員)				
<p>社会教育委員の会議でできるような内容であれば、わざわざ委員会を設置する必要もないのではないか。条例制定のための審議会を立てる必要があるかどうか。社会教育委員の中に、スポーツに関係の推薦枠があるぐらいでは不十分なのか。あるいは、オリンピックのための準備ということなら、長期的なスパンではあまり意味がないかとも思う。他市の条例の例が出ているが、それほど最近になって他市でつくられてい</p>				

るというわけでもない。

(田中議長)

スポーツ振興の目的は健康づくり。スポーツ振興課以外に健康課というのがある。合体して何かやるという考え方のほうが合っているような気がする。ただスポーツ活動とかいうだけでは、今の時代ではちょっと足りないのではないか。もうちょっと大きな概念でやっていただきたい。スポーツにかかわる人だけではなく、健康にかかわるような人たちも入ったような組織をつくっていったほうがいい。

(井土副議長)

小金井には今、スポーツ振興条例はないということか。

(渡辺生涯学習部長)

市では、スポーツ振興条例、スポーツ振興審議会はない。それにとってかわるものが社会教育法、スポーツ振興法。それに基づいて、市は必要な条例制定をする。スポーツ振興法にのっとった条例は、全国的に数が少なく、全国で8団体。審議会をたくさんつくって個々にやるのがいいのか、それとも、もっと枠を広げた形でやったほうがよりまとまりがつくのか。

(本川委員)

社会教育委員の会議は、ネットワークをキーワードにして進めている。ここでネットワークが分散するような形を選択するのはどうなのか。

(彦坂委員)

今、個々に組織が分散されているものをどういうふうに統合して体系づけるかというのが現在のわれわれの課題。社会教育としては、今の課題は細分化しない、委員会を増やさない、統合された1つの方向に向かうことではないか。

(田中議長)

これだと、スポーツ振興ならスポーツ振興だけみたいになってしまっていて、もうちょっと大きい統合ということで考えるのであれば、健康も含んだような審議会というものができていけばいい。うまくその辺をコーディネートできるような仕組みがないといけないが、市民の健康、スポーツ振興という大目標があるわけだから、そこに向かって既存の組織がつながっていくか、もう少し幅広くやっていただければいい。また、「条例がないとどうにもならない」という市民の声が上がってきて、条例をつくっていくという流れがあるのであれば別だが、まだなかなか見えづらいところがある。

以上のような意見があったということでお伝え願えればと思う。

(2) 社会教育委員会の会議の申し送り事項

(田中議長)

ネットワーク構築のためにどうしたらいいのかという方策をメインに小委員会で話をしてほしい。これは23期の委員による提言に基づいているわけで、それを実現に向けるための勉強会をしていただきたい。

会議の開催回数については、前回決めたように、年8回。会議の開催回数は年8回として、その8回のうちの1回は三者合同会議となる。開催月については、議会月はできるだけ外してもらいたいという行政側の要望を考慮したうえで、新委員に決めてもらう。小委員会は、これまでどおり原則年5回。

(3) その他

・科学の祭典への出展について

( 委員)

出展は社会教育委員有志というかたちで行いたい。

( 委員)

せっかく去年1年かけてつくったわけだから、計画書をまず皆さんに見ていただく。あと、子供も来るだろうから、何か理科の実験みたいなものもあわせてやればよい。

(小林委員)

科学の祭典というのは、社会教育委員という名前を出す初の試みになるので、委員会全会一致に行くまでにはもう少し時間がかかるかもしれない。準備のこと等を考えれば、有志という形で、何をするかは協議をしながらでもいいのではないかな。

(田中議長)

有志の方が、皆さんがやられた仕事も含め、生涯学習推進計画等を紹介する。それらを配り、やっていることを見ていただきながら、そこで伊藤さんが何かパフォーマンスをする。

(本川委員)

今回は社会教育委員の会議の中の有志が参加し、そこに子供たちも楽しめるように、伊藤さんが今日いろいろなものを持ってきてくださっている中から、皆様が納得できるようなものを選んで参加するという形にしたら、会としても有意義だと思うし、ネットワークづくりの投げかけの1つとなるのではないかな。自分たちも参加し、ネットワークを構築する努力ができるといい。

(田中議長)

社会教育委員が今までやってきたものをお披露目するいいチャンスでもある。

## 2. 報告事項

(1) 第5ブロック代表者会議の報告について

(伊藤委員)

6月26日に第5ブロックの代表者会議が狛江市で開催され、議長代理として出席した。当日は、第5ブロックに所属している6つの市が集まった。今年の第5ブロック研修は10月17日(土)に狛江市のエコルマホールで開催予定。現在どんなことをやっているのか、自己紹介を兼ねながら各市から一言ずつ話があった。武蔵野市は、去年は地域との連携、地域の人材をどう掘り起こして生かすかということで取り組ん

できた。今年はさらにその地域で学んだことを地域にどう生かすか取り組んでいきたい。三鷹市は特に学校支援を中心にシニア活動をしている。図書館の中に情報窓口をつくってあり、その1ページを見るといろいろなことがわかる。府中は、地域で学んだことを、地域に恩返しする、学び返しということを行っている。特に何とか団塊の世代の人たちに一步踏み出してもらいたいと。団塊の世代の人たちというのは、今のところ、消極的、なかなか一步を踏み出さない、地域になかなか出てこないという雰囲気があるらしい。調布市は、団塊の世代を地域社会にデビューさせたいということで、ワイワイサロンというのをつくって人集めをやったらしいが、ここ3年間を見てきても、やっぱり一步引いてしまっており、何かいい方法がないかという思いで、皆さん共通の悩みを持っているようだ。小金井は、昨年度の小金井が研修テーマに取り上げたものを一步進め、それをより実現化していく。狛江市は、学び返しということ 키워ドにして、シンポジウム形式でやりたいということである。シンポジストとしては、いわゆる子育て中の母親のグループの中、社会体育の中から各1名、シンポジストに考えている。さらに団塊の世代の人たちの出足が悪いので、何とか団塊の世代に参加してもらうため、団塊の世代の人をシンポジストとして呼ぼうということらしい。

## (2) スポーツ振興事業について

(林スポーツ振興担当課長)

平成21年度いきいき健康スポーツ教室は、60歳以上の方を対象に、4月3日から5月29日までの毎週金曜日、9回の日程で行った。3月1日号の市報等で募集し、定員30人のところ27人の参加、延べ参加人数は144人。去年は参加21人、延べ人数で119人であったので、参加者数としては6人、延べ人数では25人増加。増加の主な原因としては、昨年までと比べて高齢者が参加しやすい種目に絞って実施したことが考えられる。来年度もスポーツやレクレーションに参加したことのない高齢者が参加したくなるような種目を取り入れていきたい。

(田中議長)

参加者の年齢は上はどれぐらいか。また、男女の比率はどれぐらいか。

(林スポーツ振興担当課長)

申し込みの段階では89歳という方がおられたが、1回も参加されなかったもので、27人という人数からは除いている。実際参加された方では、最高齢は83歳。最年少は61歳である。男女比は27人中15人女性。

(田中議長)

幾つかのスポーツをやっているが、このほかに種目の希望や人気のある種目はあるのか。

(林スポーツ振興担当課長)

去年は、動きの激しいものになると参加が少なかったもので、それを除いた。ただ、

種目云々ではなく、だんだん後半になるにしたがい参加者数が減ってきている状況があるので、今後考えていきたい。

(本川委員)

種目を選ぶのは、どういうところで決定しているのか。

(林スポーツ振興担当課長)

体育協会への委託事業になっているが、種目については体育協会加盟の各競技団体の意向もあるので、その辺の方と相談させていただき、参加しやすい種目というのを過去の出席数等を考え、指導者の日程等も調整しながら考えている。いろいろなものを試しながら動きの負担のなるべく少ないものを考えていきたい。

(小林委員)

もし雨が降ったという場合には何か別の種目を考えていたのか。

(林スポーツ振興担当課長)

雨のときは総合体育館でバドミントンをやる予定になっていた。

### (3) 図書館の蔵書点検の結果について

[図書館長が総務企画委員会に出席しているため、生涯学習課長から報告があった。]

(尾崎生涯学習課長)

図書館では蔵書資料の的確な把握を行うため、隔年で特別休館により蔵書点検を実施している。今年度は東分室及び緑分室を6月15日月曜日から18日木曜日まで、本館、西之台会館図書室、移動図書館車を6月25日から7月3日にかけて蔵書点検を実施した。貸し出しを含む全蔵書が45万5,070冊であったが、そのうち貸し出しを除いた全資料を点検した。点検冊数は39万4,451冊で、貸し出しされていないにもかかわらず所在が不明な図書は1,953冊であった。不明図書率は0.43%で、前回は平成19年に実施したが、蔵書45万8,768冊に対し、不明図書が1,848冊で、不明図書率0.4%であったので、ほぼ同様の不明図書率となっている。また、あわせて5月18日から本館児童室を休館し、児童室床、カーペットを、安全性、美観、衛生面にすぐれた発泡層つきビニール床シート、これはクッションフロアであるが、改修工事を実施した。

### (4) 第20期小金井市公民館企画実行委員の選任について

(大関公民館長)

過日、第2回のこの会議において公民館南分館の企画実行委員の1名から、一身上の都合により退任届けが提出された旨の報告をしたが、このことに伴って補充選出を行った。内容については6月1日の市報で市民公募を行って、6月19日まで推薦または立候補を受け付けた。結果として、この時点において立候補届出者が1名であったことから、この1名の方を小金井市公民館条例第21条に定める、小金井市公民館企画実行委員を選出要綱に基づいて追加候補者名簿に登載していたが、昨日の教育委

員会においてご承認をいただいたので、本日付で追加委嘱をする。

(5) その他

(浦野委員)

社会教育委員から図書館協議会に出向したので、それについてご報告する。

今月の7月6日、1年ほど検討していた図書館運営体制の見直しについての諮問に対して答申を出した。図書館長から、昨年4月に諮問が出て、図書館に対する市民要望は、開館時間の延長をはじめとし、数多くある。しかしながら、現在の財政状況では新たな財源を確保することは困難であり、現行の図書館の中で工夫をして利用者サービスの向上を図りたく、現行の職務内容及び職員体制の見直しをし、職員だけでなく可能な部分は民間活用、委託、指定管理などの導入を図って市民要望にこたえていきたいという諮問をいただいたので、図書館協議会としては9回の会議をもって7月6日に答申を出した。安易な民間委託ではなく、できるだけ直営で図書館の運営をしていただきたいという答申を出した。図書館というのは小金井市民の知的財産であるということは協議会メンバー全員一致であったので、安易な妥協はせず運営することを答申として出させていただいたので、皆さんのお手元に届いたらお目を通していただければと思う。

以上